

平成23年度
事業計画書

横浜市飯島コミュニティハウス

特定非営利活動法人
さかえ区民活動支援協会

(1) 運営団体に関すること

ア 運営団体の概要

イ 経営方針、業務概要、主要業務、特色等について

ウ 運営団体が行った公の施設その他類似施設の管理運営に関する主な実績

ア 運営団体の概要

特定非営利活動法人さかえ区民活動支援協会（平成21年9月設立）は、地域のコミュニティ、文化・スポーツ活動の拠点として、地区センターやコミュニティハウス・子どもログハウスなどの管理運営を行い、地域の様々な活動を支援してきました。地区センターやコミュニティハウスで実施する自主講座などから新たなグループが数多く誕生しており、生きがいづくりや環境保全などの課題に主体的に取り組んだり地域の歴史を学び郷土愛を育む契機にするなど様々な活動が行われています。

イ 応募団体の経営方針、業務概要、主要業務、特色等について

（経営方針）

- ① 区民が気軽に快適に安心して利用できる施設運営を行い、利用者サービスの向上に努めます。
- ② 区民の自主的活動の支援、相互交流を深めることにより、地域コミュニティを醸成し地域力の向上が図れる取り組みを進めます。
- ③ 区役所と協働し行政情報のPRや行政サービスの提供に努めます。
- ④ 脱温暖化(CO₂-D₃O)・G30を意識した取り組みを進めます。
- ⑤ 経費の節減を図り効率的な運営に努めます。

（業務概要）

本郷地区センター・豊田地区センター・上郷地区センターのほかコミュニティハウス（4）・老人福祉センター翠風荘・横浜市桂山公園子どもログハウスの9施設の一体的な管理運営を行っています。

平成21年度には約46万人の利用がありました。

（主要業務）

- ① 施設の管理運営
- ② 自主事業などの実施による区民の活動支援・生涯学習活動の支援・地域交流の推進

ウ 運営団体が行った公の施設その他類似施設の管理運営に関する主な実績

- ① 3地区センター利用者数 27万9,000人（平成21年度実績）

稼働率57.5%

- ② 運営管理している施設の総数9施設

現在管理運営している主な施設名	所在都道府県市区名	業務開始年月	業務区分
横浜市本郷地区センター	横浜市栄区桂町301	平成7年4月1日	施設の管理運営
横浜市豊田地区センター	横浜市栄区飯島町1368-1	平成7年4月1日	
横浜市上郷地区センター	横浜市栄区上郷町1173-5	平成18年5月1日	
上郷コミュニティハウス	横浜市栄区桂台南2-34-1	平成7年4月1日	
本郷小学校コミュニティハウス	横浜市栄区中野町16-1	平成7年4月1日	
庄戸中学校コミュニティハウス	横浜市栄区庄戸3-1-1	平成9年4月19日	
横浜市飯島コミュニティハウス	横浜市栄区飯島町1863-5	平成19年5月1日	
老人福祉センター横浜翠風荘	横浜市栄区野七里2-21-1	平成18年4月1日	
横浜市桂山公園子どもログハウス	横浜市栄区桂台中16-1	平成7年4月1日	

○ 飯島コミュニティハウスでのサービスの提供に対する考え方

(ア) サービスの提供に関する基本的な考え方

(イ) 集会室等の利用に関する取扱いについて

(ウ) 活動の場を必要とする団体に対する相談、調整、助言等について

(ア) サービスの提供に関する基本的な考え方

横浜市の公共施設として、誰もが楽しく気持ちよく利用できるよう、公平・公正に管理運営することを基本としてまいります。

また、コミュニティハウスが地域住民の活動と交流の場であることを意識し、幼児から高齢者まで誰もが気軽に利用できるように努め、地域の自主的な活動と相互交流を図るものであれば、広く利用を促してまいります。

また、自主事業等の広報手段として行政及び地元の「タウンテレビ南横浜」等とも、協力体制をとり、広く参加を呼びかけるとともに、コミュニティハウスのPRも図ってまいります。

なお、利用の制限については明らかに他の利用者の迷惑になる利用や営利活動など、最小限に止めます。

(イ) 集会室等の利用に関する取扱いについて

利用の機会についても基本的には公平・公正を旨としますが、自主事業から生まれたグループが引き続き活動を希望するなどの場合、一定期間優先的に利用を認めることで、サークルやグループが育つように支援していきます。

(ウ) 活動の場を必要とする団体に対する相談、調整、助言等について

まずは、広くコミュニティハウスの存在と役割について、地域の多くの方々に認識して頂くことが重要であります。そのためには、地域代表である運営委員・町内会組織及び行政の広報並びにタウンテレビ南横浜などの協力を得て、認知度を高めてまいります。

相談等につきましては、館長がいつでも気軽に対応します。

また、豊田地区センター及び、生涯学習支援センター等とも連携を図り、積極的に対応してまいります。

運営目標

利用者数14,600人(平成21年度実績14,435人×1.01%)

部屋稼働率50.4%(平成21年度実績49.89%×1.01%)

- 飯島コミュニティハウスの管理運営に対するニーズ等の把握に関すること
 - (ア) 地域の特徴のとらえ方と、運営への反映の考え方
 - (イ) 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と、運営への反映の考え方
 - (ウ) 他施設との連携について

(ア) 地域の特徴のとらえ方と、運営への反映の考え方

飯島コミュニティハウスは、栄区の西部方面に位置しており、近隣には豊田地区センターがあるが交通の便はあまりよくなく、大船と戸塚を結ぶバスが利用者の主な交通手段であります。

周辺は集合住宅と戸建て住宅が混在し、比較的緑も多く、寺院・神社が点在した地域であります。

近隣の豊田地区センター等とも連携を図りながら、地域の特徴を捉え運営に反映させてまいりたい。

(イ) 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と、運営への反映の考え方

地域ニーズについては、地域の代表である町内会組織等の代表者からなる「運営委員会」を組織し、種々協力を頂くことにより、把握いたします。

また、利用者ニーズについては、コミュニティハウスの利用者からなる「利用者会議」を定期的を開催することにより把握するとともに、自主事業の受講者から「アンケート」の協力、更に「利用者の声」の箱を館内に設置するなどして、広くニーズの把握に努めることにより運営に反映させてまいります。

(ウ) 他施設との連携について

近隣にある20年の歴史を持つ豊田地区センターは「地区センターまつり」等、新旧住民が一体となって活発に行われています。

そこで豊田地区センターはもとより、他のコミュニティハウス等とも連携を取りながら、一日も早く地域に溶け込んだコミュニティハウスの運営を図ってまいりたい。

また、当施設協会が管理運営する施設の「施設長会議」を毎月開催しているので、他施設との連携も積極的に図れます。

○ 飯島コミュニティハウスでのサービスの提供に対する考え方

(ア) サービスの提供に関する基本的な考え方

(イ) 集会室等の利用に関する取扱いについて

(ウ) 活動の場を必要とする団体に対する相談、調整、助言等について

(ア) サービスの提供に関する基本的な考え方

横浜市の公共施設として、誰もが楽しく気持ちよく利用できるよう、公平・公正に管理運営することを基本としてまいります。

また、コミュニティハウスが地域住民の活動と交流の場であることを意識し、幼児から高齢者まで誰もが気軽に利用できるように努め、地域の自主的な活動と相互交流を図るものであれば、広く利用を促してまいります。

また、自主事業等の広報手段として行政及び地元の「タウンテレビ南横浜」等とも、協力体制をとり、広く参加を呼びかけるとともに、コミュニティハウスのPRも図ってまいります。

なお、利用の制限については明らかに他の利用者の迷惑になる利用や営利活動など、最小限に止めます。

(イ) 集会室等の利用に関する取扱いについて

利用の機会についても基本的には公平・公正を旨としますが、自主事業から生まれたグループが引き続き活動を希望するなどの場合、一定期間優先的に利用を認めることで、サークルやグループが育つように支援していきます。

(ウ) 活動の場を必要とする団体に対する相談、調整、助言等について

まずは、広くコミュニティハウスの存在と役割について、地域の多くの方々に認識して頂くことが重要であります。そのためには、地域代表である運営委員・町内会組織及び行政の広報並びにタウンテレビ南横浜などの協力を得て、認知度を高めてまいります。

相談等につきましては、館長がいつでも気軽に対応します。

また、豊田地区センター及び、生涯学習支援センター等とも連携を図り、積極的に対応してまいります。

○ 事業の実施に関すること

(ア) 自主事業計画に対する基本的な考え方

※具体的な自主事業計画については別紙事業計画様式3、4に記載してください。

(ア) 自主事業計画に対する基本的な考え方

○自主事業の実施にあたっては、地域のニーズを十分把握するとともに、年齢・性別等に偏らず、多くの住民が参加できるような事業を展開し、新しい地域コミュニティ団体、グループ等の形成を図ってまいります。

○飯島コミュニティハウスの自主事業については、地域の特性等を考慮しながら、近隣の豊田地区センター及び他のコミュニティハウスの自主事業を参考に、企画いたしました。

○地域の要望を反映していくため、自主事業時のアンケートの実施、館内に「利用者の声」の箱を設置するとともに、運営委員会の協力を得て、企画・実施ができるように工夫してまいります。

○自主事業等を通して、サークル活動の形成及び地域ボランティアの育成を図り、地域に密着したコミュニティハウスとなるよう努めてまいります。

自主事業計画書

【平成23年度】

施設名 飯島コミュニティハウス

事業名	①募集対象 ②募集人数 ③一人当たり参加費	自主事業予算額					
		総経費	収入		支出		
			委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
ものづくり教室 竹細工による一輪ざしづくり	一般	6000	6000	0	6000	0	0
	15人						
	0						
ものづくり教室 クリスマスにおける装飾品つく	一般	42000	12000	30000	12000	30000	0
	15人						
	2000						
健康教室 高齢者向けヨガ	一般	45000	45000	0	36000	0	9000
	20人						
	0						
飯島の昔を知る 飯島の昔を語ろう	一般	38000	36000	2000	36000	0	2000
	20人						
	100						
子供ものづくり教室 水鉄砲づくり	小学生	6000	6000	0	6000	0	0
	15人						
	0						
子供ものづくり教室 竹トンボ作り	小学生	6000	6000	0	6000	0	0
	15人						
	0						
子供ものづくり教室 凧作り、凧上げ大会	小学生	12000	12000	0	12000	0	0
	15人						
	0						
親子で楽しむ 健康維持のヨガ	乳幼児とその母	45000	45000	0	36000	0	9000
	20組						
	0						
親子で楽しむ かみしばいと体操を楽しむ	乳幼児とその母	12000	12000	0	12000	0	0
	20組						
趣味の教室 将棋教室	一般・小・中学生	44000	44000	0	36000	0	8000
	20人						
	500円						
趣味の教室 ペットのお手入れ	一般	42000	32000	10000	30000	10000	2000
	10組						
	1000円						
作品発表会	一般	44000	44000	0	12000	0	32000
	100人						
合計 12事業		342000	300000	42000	240000	40000	62000

自主事業別計画書

【平成23年度】 (様式4)

施設名 飯島コミュニティハウス

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ものづくり教室	自主事業でのアンケートで最も希望が多かった事業である ・竹細工による一輪ざしづくり ・クリスマス時における装飾品づくり	竹細工 10月 3回 クリスマス時 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康教室	自主事業のアンケートで2番目に希望が多かった事業 特に高齢者向け ・高齢者向けヨガ	1月 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
飯島の昔を知る	自分の住む町の過去の歴史に親しみながら郷土愛を深め、近隣同士の関係を深める。昨年度実施し好評であったので今年度はシリーズ化する。 ・飯島の昔を語ろう	9月～12月 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子供物作り教室	例年実施しており、好評であり参加者も多いため。 ・水鉄砲作り ・竹トンボ作り ・凧作り、凧上げ大会	7月 11月 12月 各1回

自主事業別計画書

【平成23年度】

施設名 飯島コミュニティハウス

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子で楽しむ	若い母親と子供が健康で楽しく過ごせる時間を作る ・親子で健康維持のヨガ ・親子でかみしばい、体操を楽しむ	7月～8月 4回 10月、12月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
趣味の教室	将棋、カードを通して趣味を広げ友人をつくる ・将棋教室 ・ペットのお手入れ	7～8月 4回 11月 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
作品発表会	手芸、ペン習字などの団体により作品を展示し相互交流、地域への拡大を図る。	3月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成23年度

収 支 予 算 書

横浜市飯島コミュニティハウス

特定非営利活動法人
さかえ区民活動支援協会

平成23年度横浜市飯島コミュニティハウス収支予算書

収入の部

科 目	指定管理料		
指定管理料	12,031,000		
利用料金収入			
自主事業収入			
雑入			
印刷代			
自動販売機手数料			
その他()			
その他()			
その他()			
収入合計	12,031,000		

支出の部

科 目	指定管理料		
人件費	6,613,000		
給与・賃金	5,914,000		
社会保険料	513,000		
通勤手当	156,000		
健康診断費	24,000		
勤労者福祉共済掛金	6,000		
事務費	867,000		
旅費	30,000		
消耗品費	317,000		
会議賄費	10,000		
印刷製本費	10,000		
通信費	250,000		
使用料及び賃借料			
備品購入費	100,000		
図書購入費	50,000		
施設賠償責任保険	10,000		
職員等研修費	30,000		
振込手数料	10,000		
リース料			
手数料	20,000		
地域協力費			
その他(諸費)	30,000		
事業費	300,000		
自主事業費	300,000		
管理費	3,470,000		
光熱水費	1,016,000		
電気料金	876,000		
ガス料金			
水道料金	140,000		
清掃費	378,000		
修繕費	239,000		
機械警備費	454,000		
設備保全費	1,383,000		
空調衛生設備保守	399,000		
消防設備保守	116,000		
電気設備保守	485,000		
害虫駆除清掃保守	130,000		
その他保全費	253,000		
共益費			
公租公課	321,000		
事務経費	460,000		
支出合計	12,031,000		
差 引	0		